

「町ぐるみ白岡」だより



第14号 2025.3.31 発行

みんなあつまれ!! わいわいコンサート

冬晴れの12月15日(日)に、コミュニティセンターにおいて毎年恒例の「みんなあつまれ!! わいわいコンサート」を開催しました。

この企画は、小さな子どもがはしゃいでも、泣いても気にせず、ぜひ親子で音楽を楽しんでもらいたいという願いが込められており、子どもたちや保護者の皆さんから人気のコンサートです。



今年は「ティンカーベルしらおか」の8名の皆さんによるハンドベルの演奏です。前半はクリスマスの曲やクラシック曲、そして童謡や手遊び歌、アニメソングなど、みんなで手を動かしたり、曲名を当てたり、とても盛り上がりました。ハンドベルの正式な名称は「イングリッシュハンドベル」といって、17世紀にイギリスの教会で発祥したそうです。一人で複数のベルを担当し、大きいベルは台に置きながら演奏していました。その音色は美しく澄んでいて、どこまでも伸びていくような透明な響きにうっとり聞き入ってしまいました。「アンパンマンのマーチ」では子どもたちが大はしゃぎで一緒に歌ったり、「くつやのおどり」では「糸巻き巻き♪」の時に手を動かしたりして楽しそうに聞いていました。後半ではディズニーの名曲に会場みんなで手拍子をしながら楽しみました。最後は「きよしこの夜」。ハンドベルならではの響きに、みんなで声をそろえて歌い、コンサートを締めくくりました。

演奏後、子どもたち、保護者の皆さんで舞台にあがり、ハンドベルを自由に触れたり、我が子の写真を撮ったりと、家族みんなで楽しいひとときを過ごしていました。

♪♪「ティンカーベルしらおか」代表の清水由美子さん♪♪

活動のきっかけは、「近所の子どもたちを喜ばせたい!」という音楽好きな有志の集まりからでしたが、30年も続けてこられました。今までも埼玉県を中心に、東京・千葉・長野など、様々な場所に招かれて演奏をしてきました。近くの小学校のクラブ活動や高校の部活の指導を依頼されたこともありました。活動を続けて良かったことは、ハンドベルは全員の気持ちが合わないとうまくいかないの、その分、苦労も喜びも全員でわかちあえることです。衣装に関しても、例えば今日の音符や記号をモチーフとしたお揃いの衣装は皆で手作りしたものです。練習は新白岡の集会所で1~2週間に1回程度なので、これからも無理なく続けていきたいと思ひます。



「町ぐるみ白岡」は、文部科学省登録の家庭教育支援チームです。家庭・地域・学校の連携を進める「懸け橋」となり、子育て活動団体同士の接着剤・潤滑油となることを目指しています。

関東甲信越静 社会教育研究大会 茨城大会

彰往考来 ~人をつくり 人をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育~

令和6年10月24日・25日の2日間、茨城県水戸市にて第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会が開催されました。

白岡市からの参加者は「町ぐるみ白岡」から野口会長ほか2名、社会教育委員2名の計5名でした。

1日目のシンポジウムでは、「子どもたちの成長を支えるために社会教育は何ができるか」をテーマに、持続可能な地域社会を形成していくためには、地域の人材を育成すること、また地域の人材が活躍できる場を設定することが重要であると考え、これからの地域を担う人材として「子ども」に焦点を当て、異なる3つの事例を出発点として、議論を行いました。

2日目は5つの分科会に分かれ、それぞれ異なるテーマについて発表を聞いた後、参加者同士で議論を重ねました。全国の社会教育関係者が集まり、子どもたちを取り巻く様々な問題を考察し、より充実した実践を目指していくことは大いに意義のあることと感じました。



私たちは「町ぐるみ白岡」の活動を応援しています。



白岡市スポーツ少年団

株式会社サンワ環境開発
白岡蓮田環境事業協同組合
白岡ライオンズクラブ
大成ラミック株式会社
テクノパーク白岡協同組合
株式会社トムス
有限会社西野商事
日産化学株式会社
株式会社ハイグレード

(敬称略、五十音順)



令和6年4月20日(土)、白岡市スポーツ少年団野球部会は、大谷翔平選手から白岡市の6つの小学校に寄贈された『大谷グローブ』計18個を一堂に集めて、ちびっ子野球大会を開催しました。

野球には興味を持っているけど、まだチームには入っていない4年生以下の子どもたちも大勢仲間に入り、みんなでTボール野球ゲームを楽しみました。

ちびっ子野球大会で野球の楽しさ、スポーツの楽しさに触れ、これがきっかけとなり野球を始める子どもたちが増えました。

この試みに対し、快くご協力いただいた市内各小学校に感謝申し上げます。

白岡のかがやきびと

板垣 勇さん



板垣さんは、毎朝、総合運動公園のジョギングコースの清掃を10年以上も続けられています。朝5時頃に掃除用具をもって自宅を出発し、徒歩で約1時間かけて総合運動公園に向かいます。雨の後は水たまりの水を掃いたり、秋には落ち葉を掃いて集めています。

「ジョギングコースを、毎日少しずつ場所を変えてできる範囲をきれいにしているだけですが、利用者の皆さんの『ありがとうございます』『助かります』といった声が励みになっています。」

「中学生の皆さんが走っているときは、いつも『頑張れ』と声をかけて見守っています。生徒さんたちも元気に挨拶を返してくれて、ささやかな交流を楽しみにしています。」散歩をされている方からは、「雨の日も風の強い日も欠かさずボランティアで清掃されている板垣さんのお姿を見かけると、本当に頭が下がります」との声が聞けました。そしてなによりも、板垣さんの優しい笑顔に気持ちがほっこりするそうです。

発行：「町ぐるみ白岡」
編集：「町ぐるみ白岡」広報委員会
白岡市教育委員会生涯学習課
問合せ：0480-92-1111
内線 524

最初は緊張したけれど、お題があったことで話しやすかったし、だんだんリラックスして話すことができて楽しかったです。



人見知りなので最初のうちはあまり話せなかったけど、地域の方々が優しい人たちばかりで良かったです。いい経験になりました。また参加したいです。



お題が面白く、色々な話を聞いて良かったです。自分のコミュカの無さを痛感しました。人生の大先輩の話をたくさん聞いたのは大きな収穫だったと思います。



初開催！ トークフォークダンス！



イベント

ひこべえの森冬のつどい



12月14日（土）今年も冬の恒例イベント「ひこべえの森冬のつどい」が行われました。朝から北風が強かったのですが、多くのボランティアの皆さんが準備を進めてくださったおかげで万全の態勢で中学生を出迎えることができました。総勢97名の方にお集まりいただきました。

まずは、自然観察指導員の奥野さんと「白岡緑と土の会」の久保木さんと一緒に自然観察会をしながら森を一周し、その後2班に分かれての清掃活動です。落ち葉や枯草を集めてビートルベッドを作りました。作業が終わればお楽しみの昼食です。おやじの会の方にもお手伝いいただき、焼き芋、おにぎり、豚汁をみんなで一緒に食べました。森の陽だまりで食べる味は格別で寒さを忘れるほどでした。

参加者の方からは、「みんなで作業して大変だったけど楽しかった。来年も参加したいです。」とのお声をいただきました。



「町ぐるみん白岡」の啓発活動をしました

11月23日（土）ふれあいの森公園で行われた「わんぱく商店街」において、「町ぐるみん白岡」の啓発活動を行いました。当日は、親子連れなど会場にお越しいただいた方に啓発リーフレットをお配りしました。「町ぐるみん白岡」では様々な事業を行っています。多くの方のご参加をお待ちしております。

令和7年3月3日（月）、菁莪中学校にて「町ぐるみん白岡」では初の試みとなるトークフォークダンスが開催されました。トークフォークダンスとは、短い時間でフォークダンスのように相手を変えて1つのお題に対して1対1で語り合うものです。

菁莪中学校の3年生（40名）と大人（約40名）が参加しました。とにかく思いついたことをどんどん言葉にしないと、あっという間に時間が過ぎてしまうので、みんな夢中で話をしている様子が印象的でした。

大人からは、「今の子どもたちはしっかり自分の考えを持っており、将来も安心できると感じた」と感想がありました。一方で中学生からは、「地域の人と話す機会はなかなかないので、最初は緊張したが楽しかった」などの感想があり、お互いに発見があったようです。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。

